杉並のミライは、アナタ次第！

ユースが取り組む気候変動に関するワークショップ

in 杉並

2025.8.2 ≫ 9 ≫ 30 SAT

DAY1 ダイジェスト

気候変動の基礎知識の理解

グループワーク

地元で活躍する
若者からのアドバイス

つくった画像を元に話し合う

各グループでつくった画像の発表

フラフープダウン

プログラム

今日

DAY 1

8／2（土）
9:00~12:00

気候変動問題を学んで、2050年の杉並区の姿を思い描いてみよう!

DAY 2

8／9（土）
14:00~17:00

未来を実現するためのアイデアや仕組みを考えよう！

DAY 3

8／30（土）
14:00~17:00

アイデアや仕組みを形にするための対話や合意形成について学ぼう！

プログラム

09:00　はじめに（15分）

09:15　気候変動問題について専門家から学ぼう（30分）

東京大学未来ビジョン研究センター 江守正多教授

09:45　地元で活躍している同世代の体験を知ろう（20分）

グリーンバード高円寺チーム：金子千夏さん・上原彩未さん

10:05　休憩（10分）

10:15　グループワーク：ゼロカーボンシティ杉並の未来を描いてみよう！（70分）

11:25　全体共有（25分）

11:50　まとめ・次回の案内（10分）

12:00　終了

DAY1のゴール

気候変動問題を学ぼう！

2050年の杉並区の姿を

思い描いてみよう！

AIで画像を
つくって

気候変動問題を学ぼう！

気候変動問題を知る

わたしたちには何ができるか

東京大学未来ビジョン研究センターの江守正多教授から、気候変動の現状や原因、そしてその影響について情報提供を行いました。

社会全体を変革する必要性や将来世代の未来に気候変動がどう関わってくるかについてお話しいただきました。

地元で活躍している若者のリアルな声

若者が気候変動・環境問題に取り組む意義

グリーンバード高円寺チームの金子千夏さん・上原彩未さんに、グリーンバードの活動についてご紹介いただきました。

若者が気候変動・環境問題に取り組む意義を述べ、参加する中高生にその重要性を伝えてくれました。

お話の記録

杉並のミライは、アナタ次第！
ユースが取り組む
気候変動に関する
ワークショップ
in 杉並
2025.8.2 9:30 SAT
本日のゴール
気候変動を学ぼう！
2050年の杉並区の姿を思い描いてみよう！
進め方
はじめに
気候変動問題について専門家から学ぼう
地元で活躍している同世代の体験を知ろう
休憩
グループワーク：ゼロカーボンシティ杉並の未来を描いてみよう！
全体共有
まとめ・次回の案内
終了
気候変動問題を知る
わたしたちには何ができるか
気候変動 ≒ 地球温暖化
温室効果ガス
なかったら −19℃
あるので 14℃
温室効果が強まると 14℃+
東京大学
江守正多 教授
人間活動による排出量
170年前
土地利用起源
化石燃料・工業起源
CO_2
産業革命からの気温変化
温暖化で起きること
人間の影響による温暖化は疑う余地がない！
海面上昇
洪水
強い台風
熱波
生態系の損失
食料不足
水不足
外で活動できない
森林火災
感染症
国連パリ協定！
2015年採択
1.5℃におさえる努力をしよう！
先進国以外はどうなるの？
先進国が発展途上国を助けながら進めるというのが基本的な考え方。
個人の変化
社会のしくみの変化
しくみの変化をあと押しすることが大事
常識は変わる
30年前に普及してなかったモノ
インターネット
デジカメ
ケータイ・スマホ
ペットボトルのお茶
30年後にあたりまえになるモノ
省エネ住宅
自動運転EV
代替肉
テレプレゼンス
空調服
そんなことできるの？
日本も
2030年46%減
2050年で実質0にしよう！と決まった
地元で活躍している同世代の体験を知ろう
金子千夏さん
上原彩未さん
グリーンバード高円寺チーム
高円寺チームは全チームの中で2位
地域にポイ捨てしずらい雰囲気をつくろう
ゴミを拾う人を目立たせる
ゴミ拾いのイメージを変える
おしゃれ
カッコいい
楽しい
定例おそうじ
中高生向けSDGsワークショップ
地域のフェス等でワークショップ
小中学校での授業
阿佐ケ谷おそうじ 毎月第2日曜日 10:30〜11:30
荻窪おそうじ 毎月第1日曜日 9:30〜10:30
高円寺おそうじ 毎月第1金曜日 19:00〜20:00 毎月第3日曜日 10:30〜11:30
Q いつどこでやってるの？
グリーンバード で検索。
ふらっと参加することができるので気軽に参加してください。
Q だいたい何人参加してるの？
・高円寺チームは全国チーム1位
・1回のおそうじ 30人ぐらい
Q おしゃれ、カッコいいのイメージづくりとして今後やっていきたいことは？
SNSでの発信、ごみ拾いの啓発、ゴミのイメージを変えていきたい！

グループワーク

ゼロカーボンシティ杉並の未来をAIで描いてみよう！

杉並の未来を想像してみました

2050年（今から25年後）には、

「杉並が日本一環境に優しくて、

住みやすい！」と言われるまちに

なっているとします。

それってどんなまち？！

４つのテーマをグループごとに話し合いました

1

生活に必要なエネルギーを
地産地消している

１・２グループ

2

ごみの排出が少なく、
全てのものが循環している

３・４・５グループ

3

環境にやさしい方法で、
移動したくなる

６・７・８グループ

4

質の高い豊かなみどりを
守り、育んでいる

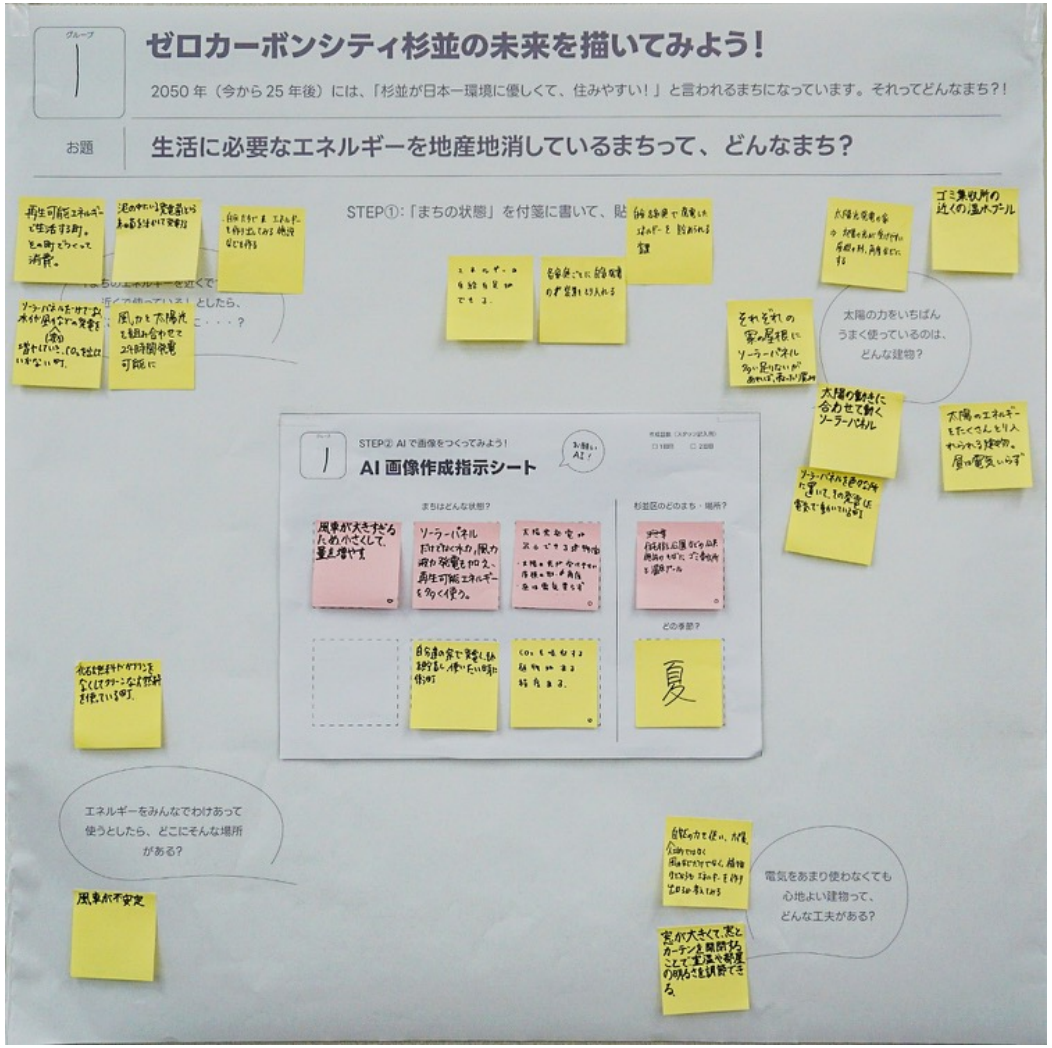
９・10グループ

１グループ | 議論した内容

テーマ

生活に必要なエネルギーを地産地消しているまち

- 再生可能エネルギーで生活するまち
- 泥の中の発電菌という細菌を活かして発電する
- 自分達でエネルギーをつくり出す施設を建てる
- ソーラーパネルだけでなく、水力や風力などの発電を増やしていき、CO2を出さないまち
- 風力と太陽光を組み合わせて24時間発電を可能にする
- エネルギーの自給自足ができる
- 各家庭ごとに自家発電の装置を取り入れる
- 各家庭で発電したエネルギーを貯められる装置
- それぞれの家の屋根にソーラーパネルの過不足があれば、売買ができる
- 太陽の光が受けやすい屋根の形や角度にする
- 太陽の動きに合わせて動くソーラーパネル
- ソーラーパネルをさまざまなところに設置して、その電気で動くまち
- 太陽のエネルギーを多く取り入れられる建物だと、昼間は電気がいらない
- ごみ収集所の近くの温水プールは、太陽の力をうまく使っている
- 化石燃料やガソリンをなくしてクリーンな燃料を使っているまち
- 自然の力を使って、太陽や風力だけでなく、植物などからもエネルギーを作り出せるか考えてみる
- 窓が大きく、窓とカーテンを開閉することで室温や部屋の明るさを調節できる
- 風車（風力発電）が不安定



１グループ | 描いた未来像

テーマ

生活に必要なエネルギーを
地産地消しているまち

入力した項目

場　所：住宅街、公園などの公共施設のそばにごみ収集場と温水プールがある

季　節：夏

まちの状態：

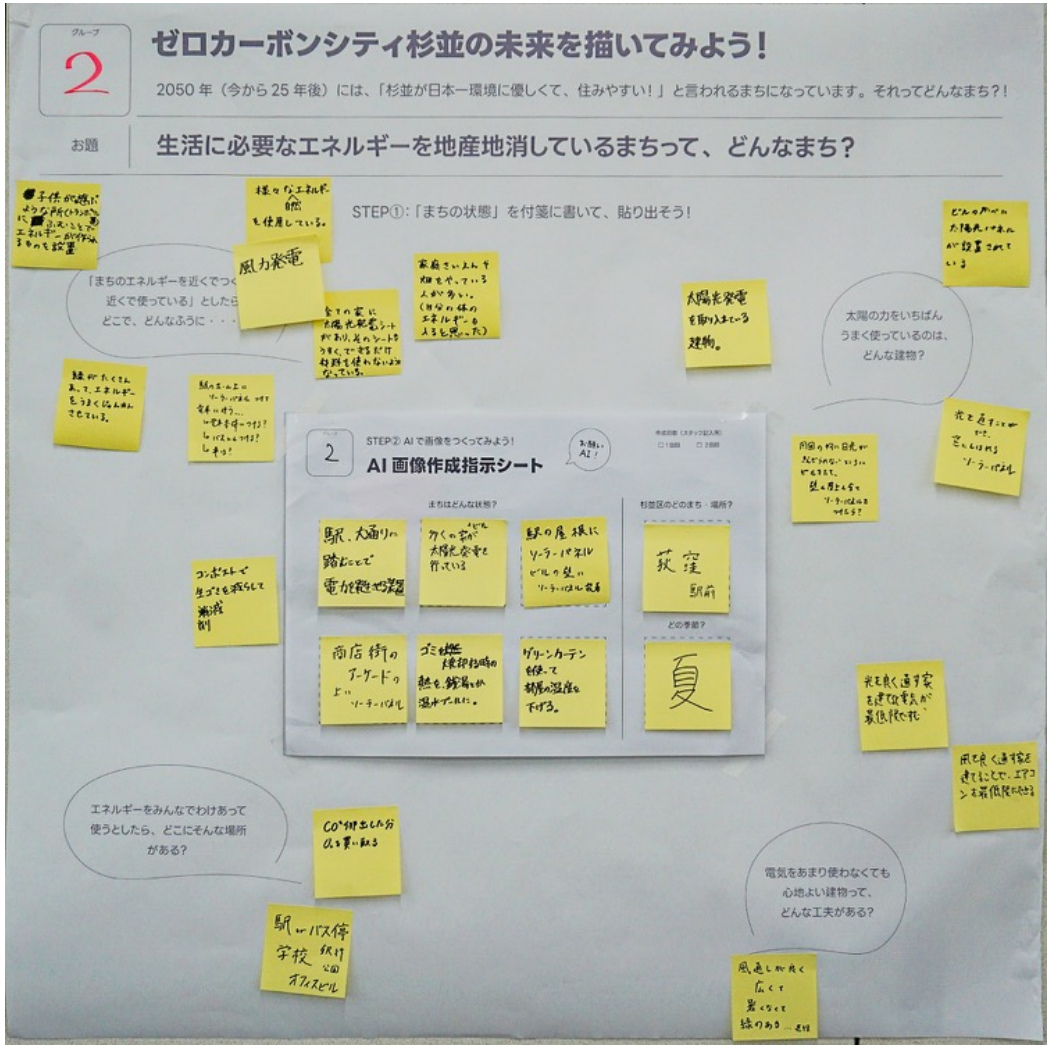
- 風力と太陽光を組み合わせて24時間発電可能に
- ソーラーパネルだけでなく、水力、風力、波力発電も加え、再生可能エネルギーをより多く使う
- 太陽光発電ができる建物や家を増やす
- 太陽の光が受けやすい屋根の形や角度にする
- 昼は電力いらずな状況・設備にする
- 自分達の家で発電し、それを貯蓄し、使いたい時に使うまち
- CO_2を吸収する植物がある程度ある

２グループ | 議論した内容

テーマ

生活に必要なエネルギーを地産地消しているまち

- 子どもが遊ぶようなところ（トランポリンなど）に、踏むことでエネルギーが作り出せる装置を設置する
- さまざまな自然エネルギーを使用している
- みどりが多くあって、エネルギーをうまく循環させている
- 駅のホーム上にソーラーパネルをつけて電車に使う
- 全ての家に太陽光発電シートがあり、そのシートは薄く、できるだけ少ない材料でつくられている
- 家庭菜園や畑仕事をしている人が多い
- 太陽光発電を取り入れている建物
- ビルの壁に太陽光パネルが設置されている
- 光を通すことができ、窓にも貼れるソーラーパネル
- 周囲の建物が日光を遮らないところにビルを建て、壁や屋上すべてにソーラーパネルを設置する
- コンポストで生ゴミを減らして削減する
- 駅、バス停、学校、オフィスビル、銀行、公園などでエネルギーを分け合う
- CO_2を排出した分、O_2を買い取る
- 光をよく通す家を建てることで電気が最小限で済む
- 風をよく通す家を建てることでエアコン使用を最低限に抑えられる
- 風通しがよく、広く、暑くなく、みどりのある建物が心地よい



２グループ | 描いた未来像

テーマ

生活に必要なエネルギーを
地産地消しているまち

入力した項目

場　所：荻窪駅前

季　節：夏

まちの状態：

- 駅、大通りに踏むことで電力を発生させる装置
- 多くの家・ビルが太陽光発電を行なっている
- 駅の屋根にソーラーパネル
- 商店街のアーケードの上にソーラーパネル
- ビルの壁にソーラーパネルとグリーンカーテン
- ビルの屋上に家庭菜園の畑をつくる
- ごみを焼却する時の熱を銭湯や温水プールに
- グリーンカーテンを使って部屋の温度を下げる

３グループ | 議論した内容

テーマ

ごみの排出が少なく、
全てのものが循環しているまち

- 紙コップやレジ袋など、使い捨てのものを普段使いしていない
- バッグや服など、使わなくなったものを再利用する仕組みが一般化されている
- むだが少なく、効率が良く、暮らしやすいまち
- エネルギーが化石燃料に依存しておらず、その地域で完結している
- チョークの粉でチョークを作る
- バイオ燃料をエネルギー源の１つにする
- 廃棄野菜をパウダーにして塗料にする
- 食べ残しが作物の肥料になる
- いらなくなったものは難民へ寄付する
- ペットボトルを減らすために、給水所が主流になっている
- ごみ箱があまり使われなくなる
- ペットボトルを分別して捨てると、ポイントが貯まったり商品券がもらえたりする
- リサイクルショップにコンビニ感覚で行ける
- 服を捨てるのではなくあげる
- ごみの臭いの問題がなくなると良い
- ごみ箱の治安が良くなりそう
- ごみを捨てる場所が変わる

3グループ | 描いた未来像

テーマ

ごみの排出が少なく、
全てのものが循環しているまち

入力した項目

場　所：住宅地

季　節：春

まちの状態：

- 住宅地
- まちの色々な所にリサイクルBOXが置かれている
- まちにウォーターサーバーのようなものがある
- 積極的に再生可能エネルギーを使っている
- 街灯などあらゆる所に太陽光パネル
- 水筒をみんなが使っている
- ポイ捨てが一切ない

４グループ | 議論した内容

テーマ

ごみの排出が少なく、
全てのものが循環しているまち

- まちにごみ箱がある
- ほぼ全てのものが再利用されているまち
- 再利用できるものや再利用可能な資源を使うまち
- ごみ回収の回数が多いまち
- 生ごみを再利用するための機械がそれぞれの家庭にある
- ポイ捨てする人がいない
- 自動販売機のごみ箱がない
- いらないものを地域で交換して使い合う文化がある
- ごみ拾いロボットがまちなかにいる
- フリーマーケットが頻繁に行われている
- 使い終わったものを回収ボックスで回収してリサイクルするまち
- リサイクルショップが100均なみに多くある
- レジ袋やビニール袋、ペットボトルなどが少なくなる
- プラスチックを包装に使っている製品を使用しないまち
- ペットボトルではなく紙の飲料が多く売っているまち
- ペーパーレスなまち
- みんながエコバッグを持っている
- みんながご飯を完食する

４グループ｜描いた未来像

テーマ

ごみの排出が少なく、
全てのものが循環しているまち

入力した項目

場　所：阿佐ヶ谷

季　節：冬（雪の日）

まちの状態：

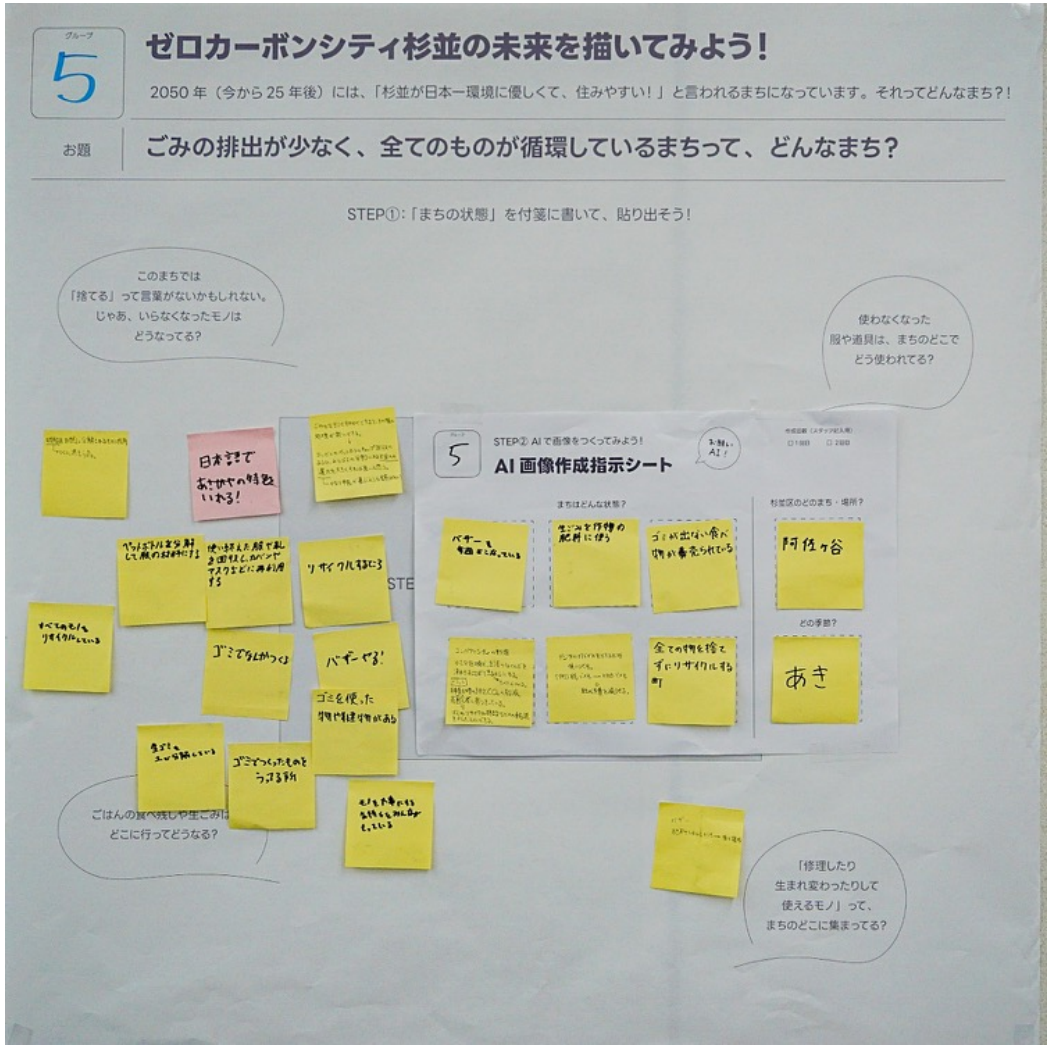
- 阿佐ヶ谷で学生や大人が通勤通学している
- 出たゴミを全て再利用し回収回数を増やす
- リサイクルショップやフリーマーケットが多くあるまち
- １人１人がエコバックを持ち歩いている
- プラスチック製品が紙などの再利用できるものに変わっている
- 食べ残しは全て肥料や家畜のエサになる
- 子どもサイズの人型ロボットで、足の裏がルンバになっているごみ拾いロボットがまちなかにいる

５グループ | 議論した内容

テーマ

ごみの排出が少なく、
全てのものが循環しているまち

- 生活用品、とくに消耗品を自然に分解されるものに代用する
- 正しいごみの分別がお金として還元されるしくみをつくる
- ペットボトルを分解して服の材料にする
- 使い終えた服や靴を回収し、鞄やマスクなどに再利用する
- 全てのものをリサイクルしている
- ごみで作った商品や建物がある
- バザーをする
- 生ごみを土が分解している
- ものを大事にする気持ちをみんなが持っている



５グループ | 描いた未来像

テーマ

ごみの排出が少なく、
全てのものが循環しているまち

入力した項目

場　所：阿佐ヶ谷

季　節：秋

まちの状態：

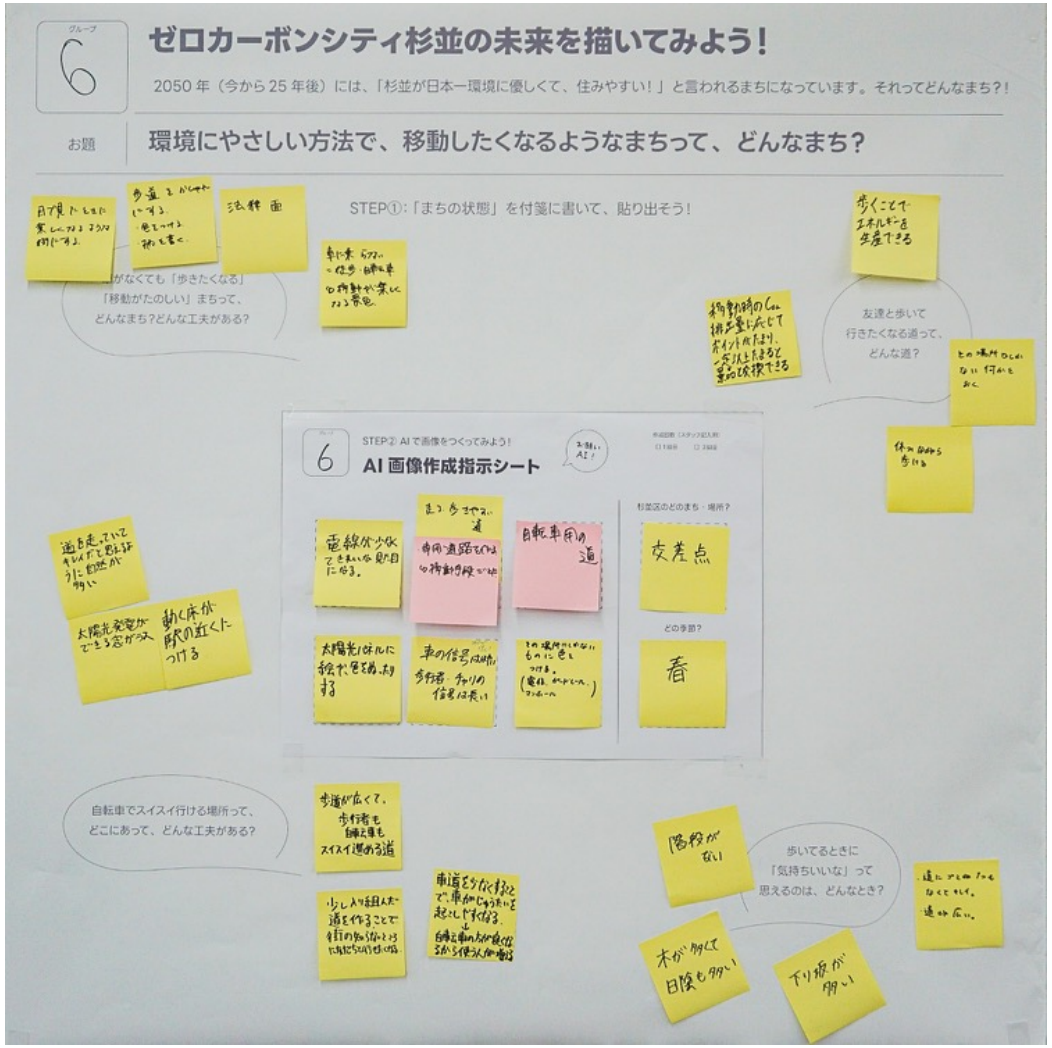
- バザーを毎週行っている
- 生ごみを作物の肥料に使う
- ごみが出ない食べ物が売られている
- 全てのものを捨てずにリサイクルするまち
- デジタルデバイスをできるだけ使い尽くす。紙のメモからスマホでメモに
- コンパクトシティの形成で、小さな区域で生活のほとんどを済ませることができるようにする。ごみのリサイクル施設への輸送が簡単にできる

６グループ | 議論した内容

テーマ

環境にやさしい方法で、移動したくなるようなまち

- 目で見た時に楽しくなるようなまちにする
- 色を塗ったり、柄をつけたりして歩道をおしゃれにする
- 徒歩や自転車での移動が楽しくなるような景色づくり
- 道を走っていてきれいだと思えるように自然が多いと良い
- 太陽光発電ができる窓ガラス
- 動く床を駅近くに設置する
- 移動時のCO_2排出量の少なさに応じてポイントが貯まり、一定数以上貯まると景品と交換できる
- 歩くことでエネルギーを生産できる
- この場所にしかない何かがある
- 休みながら歩けると良い
- 階段や道に落ちているごみがなく、道幅が広いと良い
- 木が多く、日陰が多いと嬉しい
- 歩道が広く、歩行者も自転車も進みやすい道
- 車道を少なくすることで、車が渋滞しやすくなる。
  車が不便になるため自転車を使う人が増えると思う
- まちに少し入り組んだ道があると、友人と一緒に行きたくなる



６グループ | 描いた未来像

テーマ

環境にやさしい方法で、
移動したくなるようなまち

入力した項目

場　所：交差点

季　節：春

まちの状態：

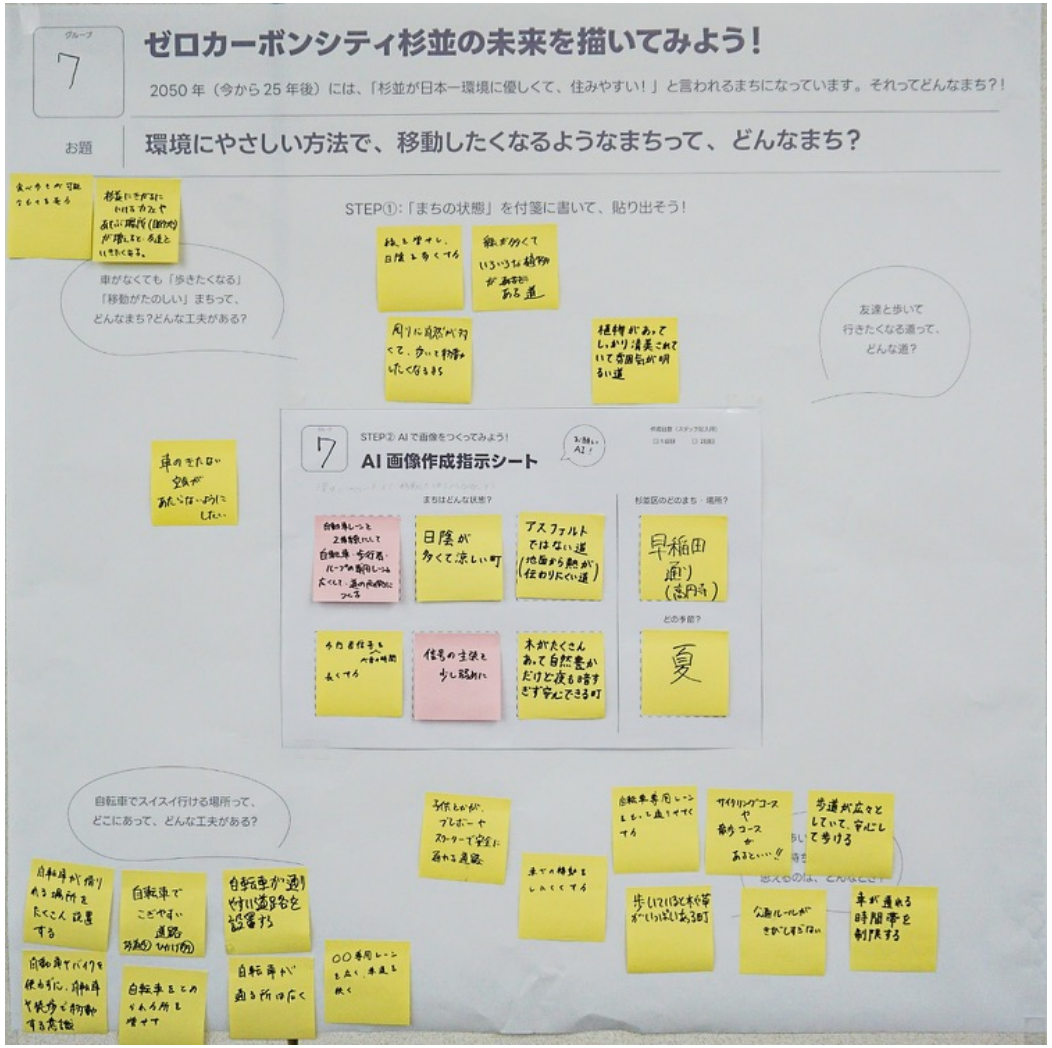
- 電線が少なく、見た目がきれいな街並み
- 走りやすい、歩きやすい道
- 歩行でエネルギーを生産できる仕組み
- 絵や色が塗られた太陽光パネル
- 車の信号が短く、歩行者・自転車の信号が長い交差点
- 電柱、ガードレール、マンホールなど、その場所にしかないような色鮮やかなもの
- 自転車の通っているところは自転車専用レーンのマークを
- 歩行者のところは歩行者専用レーンのマークを

7グループ | 議論した内容

テーマ

環境にやさしい方法で、移動したくなるようなまち

- 食べ歩きが可能なものを売る
- 杉並に気軽に行けるカフェや遊ぶ場所が増えたら友人と行きたくなる
- 車の排気が当たらないようにしたい
- みどりが多く、日陰が多い道だと良い
- 道路が整備されていて雰囲気が明るく、歩いて移動したくなるまち
- 自転車が通りやすいように道が整備されている
- レンタル自転車や駐輪場を多く設置する
- 自動車やバイクではなく、自転車や徒歩で移動する意識をもつ
- 歩行者/自転車専用レーンを広くして、車道を狭くする
- 車が通れる時間帯を制限したり、車移動をしづらくしたりする
- サイクリングコースや散歩コースがあると良い
- 交通ルールが厳しすぎない
- 子どもがブレイブボードやスクーターで安全に通れる道だと良い
- 歩道が広々としていてみどりが多く、安心して歩ける



７グループ | 描いた未来像

テーマ

環境にやさしい方法で、
移動したくなるようなまち

入力した項目

場　所：杉並区高円寺早稲田通り

季　節：夏

まちの状態：

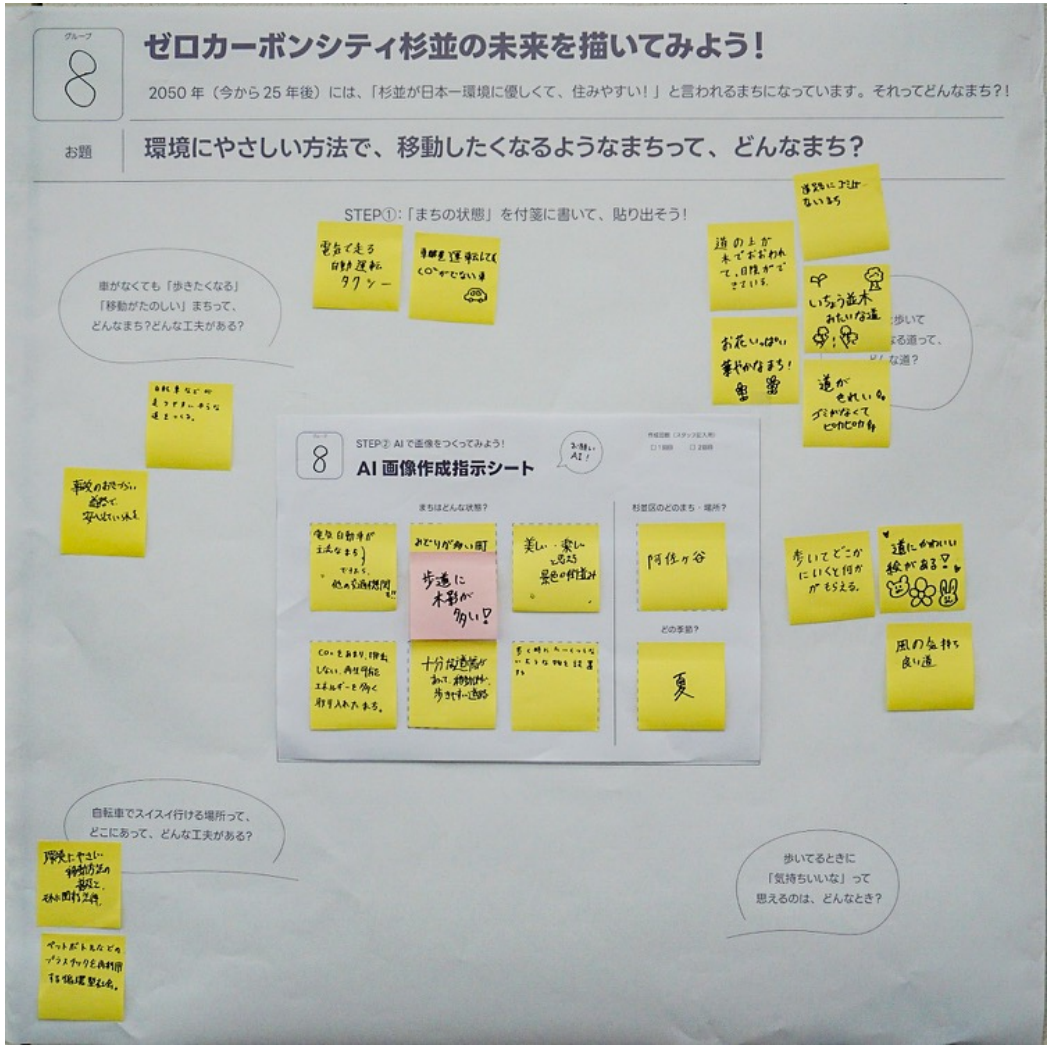
- 日陰が多く、涼しい
- 木がたくさんあり、自然豊か
- 街灯が多くて安心できる
- アスファルトではない道
- 歩行者信号の青信号が長く、歩行者に優しい
- 自動車レーンを２車線にする
- 自転車、歩行者、LUUPの専用レーンを広くして、道の両側に作る
- 信号機の主張を弱くする

８グループ | 議論した内容

テーマ

環境にやさしい方法で、移動したくなるようなまち

- 事故が起きづらい道路で、安心して通れる
- 自転車が走りやすい平らな道をつくる
- 電気で走る自動運転タクシー
- CO_2を出さない車が走っている
- 道の上が木で覆われていて日陰になっている
- 花がいっぱいで華やかなまち
- いちょう並木のような道
- 道路にごみがなくきれいな道
- 風の通りが気持ち良い道
- 道にかわいい絵が描いてある
- 歩いてどこかに行くと何かがもらえる
- 環境にやさしい移動方法の普及とそれに関する法律が整備されているまち
- ペットボトルなどのプラスチックを再利用する循環型社会



８グループ | 描いた未来像

テーマ

環境にやさしい方法で、
移動したくなるようなまち

入力した項目

場　所：阿佐ヶ谷

季　節：夏

まちの状態：

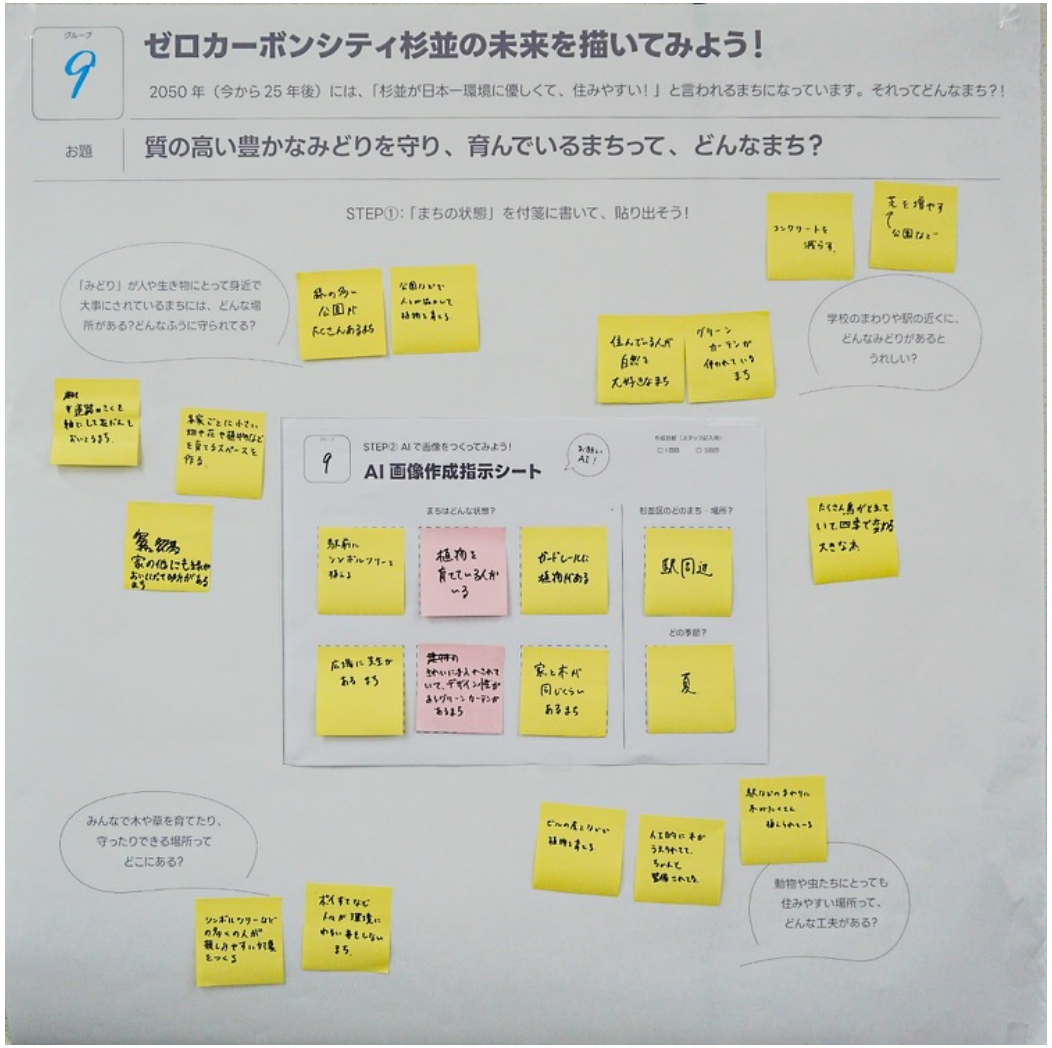
- 電気自動車や水素自動車が主流のまち
- みどりが多いまち
- 美しい、楽しいと思える景色の街並み
- 再生可能エネルギーを多く取り入れたまち
- 道幅が十分にあり、移動しやすく歩きやすい道
- 歩行者が歩いていて退屈しないまち
- 歩道に木陰が多い

９グループ | 議論した内容

テーマ

質の高い豊かなみどりを守り、育んでいるまち

- 道路の柵を軸にして花壇が置いてあるまち
- 各家ごとに小さい畑や花、植物などを育てるスペースをつくる
- 家以外にもみどりが生い茂っているところがあるまち
- みどりが多い公園が多くあるまち
- 公園などで人が協力して植物を育てている
- 住んでいる人が自然を大好きなまち
- グリーンカーテンが使われているまち
- コンクリートを減らす
- 公園の芝生を増やす
- 鳥がたくさん止まっていて四季の変化がある大きな木がある
- 駅のまわりに木が植えられていてきちんと整備されている
- ビルの屋上などで植物を育てる
- ポイ捨てなど人々が環境に悪いことをしないまち
- シンボルツリーなど、多くの人が親しみやすい対象をつくる



９グループ | 描いた未来像

テーマ

質の高い豊かなみどりを守り、育んでいるまち

入力した項目

場　所：駅周辺

季　節：夏

まちの状態：

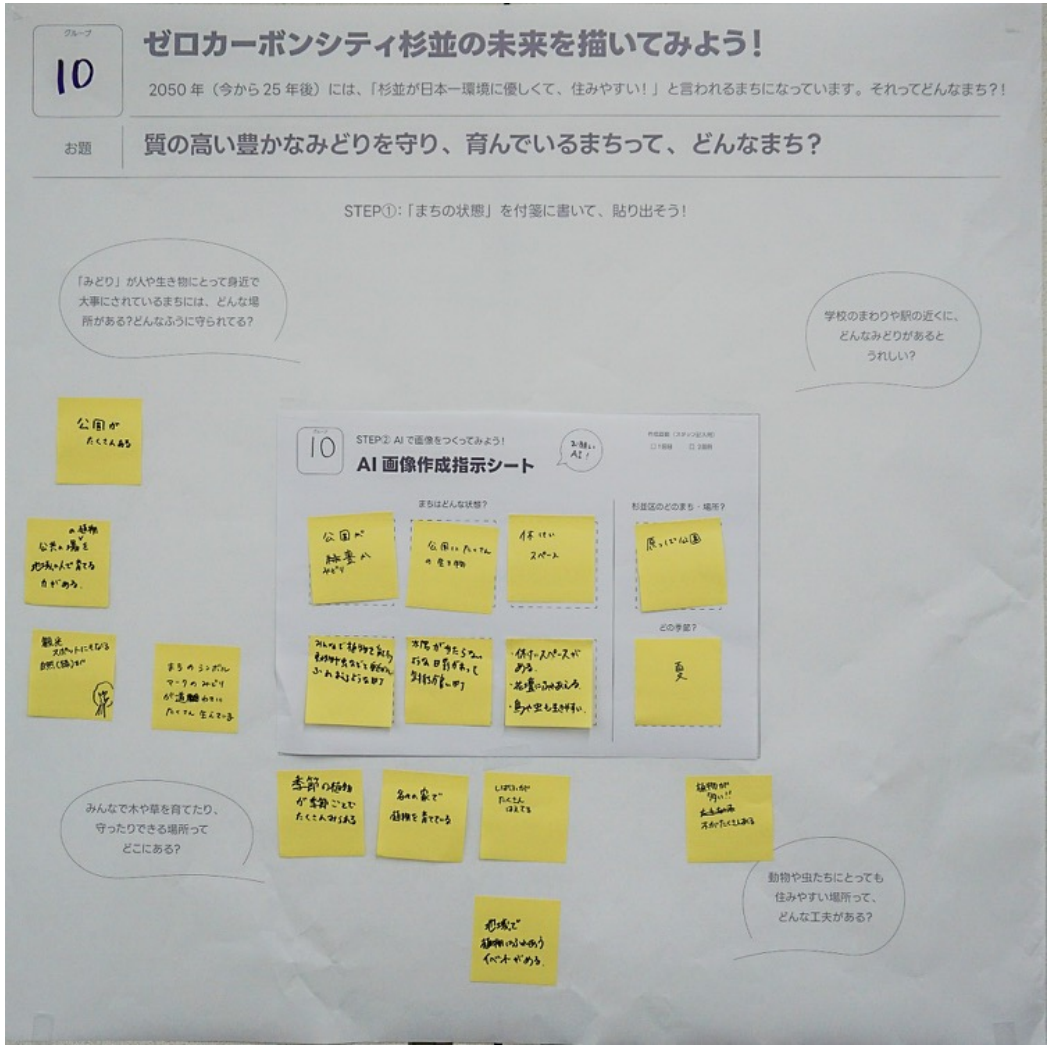
- 駅前にシンボルツリーを植える
- 植物を育てている人がいる
- ガードレールに植物がある
- 広場に芝生があるまち
- きれいに手入れされていて、デザイン性があるグリーンカーテンがあるまち
- 家と木が同じくらいあるまち

10グループ | 議論した内容

テーマ

質の高い豊かなみどりを守り、育んでいるまち

- 公園が多い
- 公共の場にある植物を地域の人で育てる力がある
- 自然が観光スポットにもなっている
- まちのシンボルマークのみどりが道脇に多く生えている
- 季節の植物がその季節ごとに多く見られる
- 各々の家庭で植物を育てている
- 芝生が多くある
- 地域で植物にふれあうイベントがある
- 木や植物が多い



10グループ | 描いた未来像

テーマ

質の高い豊かなみどりを守り、育んでいるまち

入力した項目

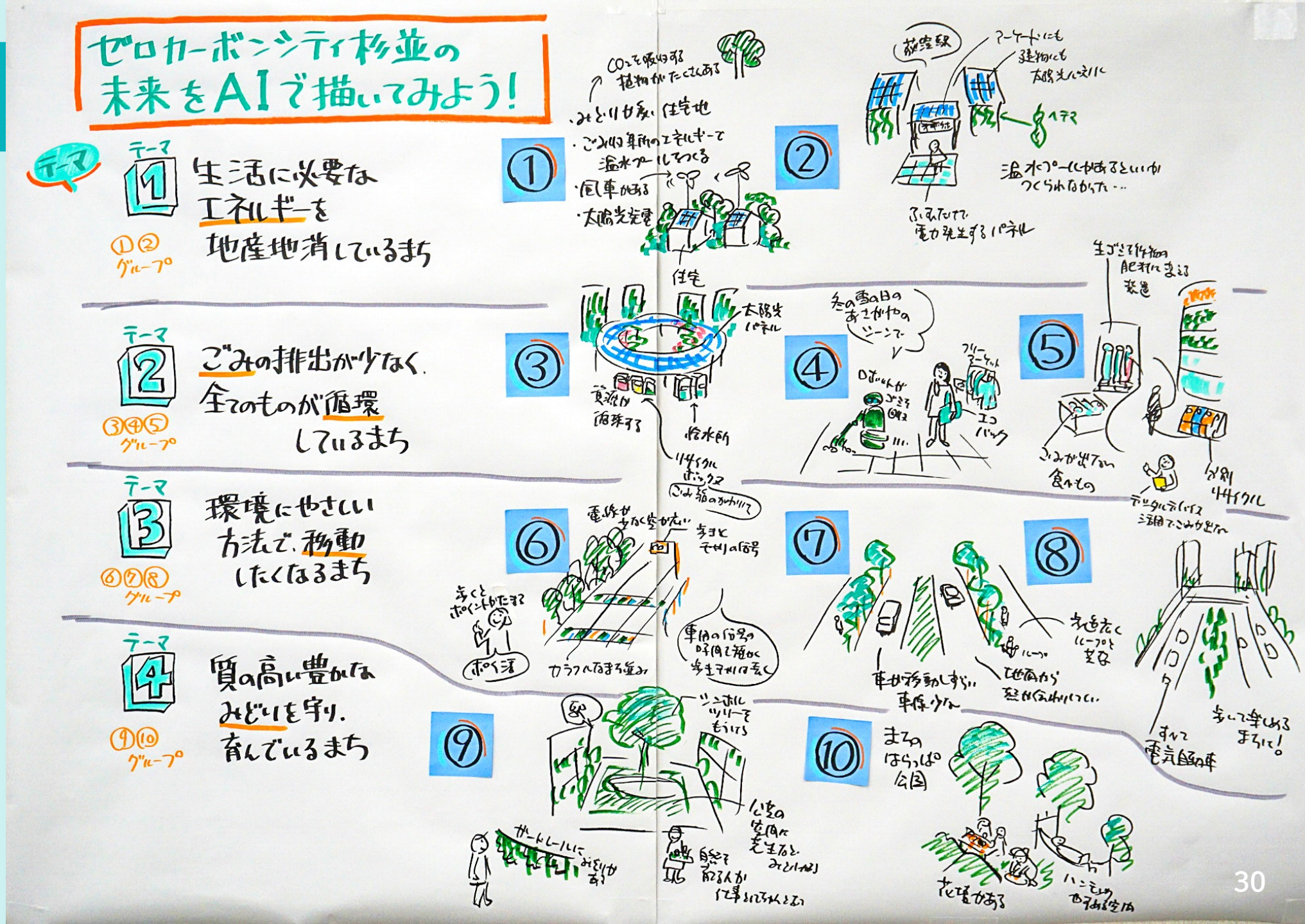
場　所：桃井原っぱ公園

季　節：夏

まちの状態：

- 公園がみどり豊か
- 公園にたくさんの生き物
- 休憩スペース
- みんなで植物を育てたり動物や虫などと身近に触れあえるようなまち
- 太陽が当たらないような日陰があって気持ちが良いまち

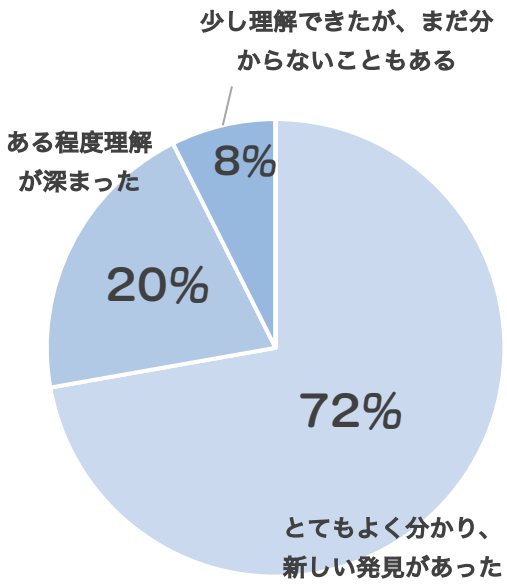
グループ発表のポイント



アンケート結果

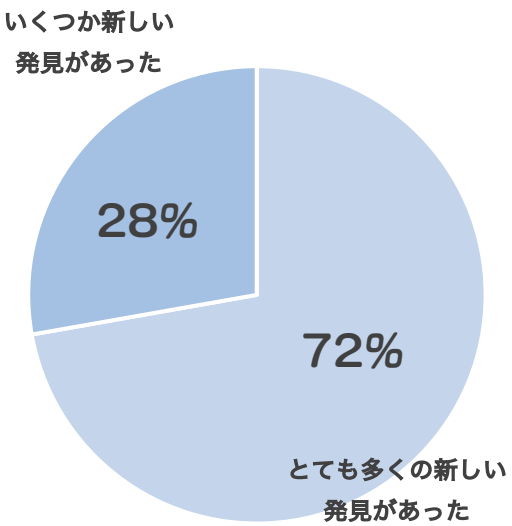
回答者数：54名

Q. 今日のワークショップに参加して、何か新しい発見や理解はありましたか？



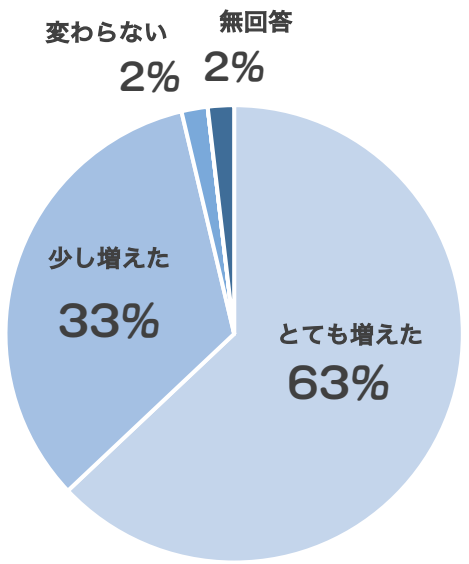
あまり変化はなかった	0%
全く理解できなかった	0%
その他	0%

Q. 新しい考え方や見方が見つかりましたか？



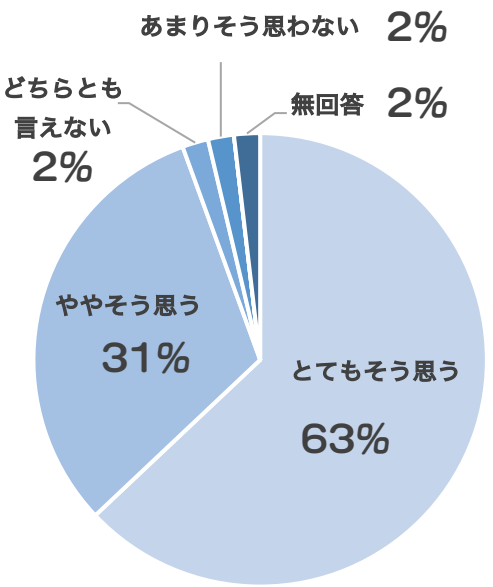
少しは新しい視点が得られたが、大きな変化はなかった	0%
あまり新しい発見はなかった	0%
全く新しい発見はなかった	0%
その他	0%

Q. 気候変動問題に対して取り組んでいきたい気持ちはどのくらい変わりましたか？



少し減った	0%
とても減った	0%
その他	0%

Q. グループワークでの意見交換はスムーズに進められることはできましたか？



全くそう思わない	0%
その他	0%

アンケート結果

Q. 今回参加した感想や、今後期待すること、
聞いてみたいことなど、自由に記入してください。

普段は、異なる学年の人と
交流する機会がないので
新鮮だった

自分では思いつかないような
新しい斬新なアイデアが
いくつも聞けて楽しく
良い刺激になった

起業ができるのではないか
というほど、アイデアが
たくさん出ました

30年あれば、まちや人も
ガラッと変えられると思うので、
少しでも可能性を信じて、
いろいろなことに取り組むことが
大事なのだと思った

同年代の人と
気候変動について議論し合うことは
初めてだったので、
とても楽しかったです

次回も人と考えを共有して
今起こっている問題を
解決したいです

今後、私達の世代が
世界をどのように変えていくのか
楽しみになりました

話し合うだけでなく
実際に行動に起こすところまで
やってみたい

機会があったら
グリーンバードの
ボランティア活動も
参加してみたい

今日議論したいことを
深掘りできるような話し合いを
これからしたい

初めは不安だったが、
自分達が考えたものが
形や絵になった時に
とても面白かった